

〈体育科〉第6学年

単元名 「マット運動」

【目指す児童像に迫る手立て】

〈やりたい〉「主体的な学び」を目的とした手だて

- 資料提示の工夫
- 様々な「できる」(する、見る、知る、支える)の達成

〈みんなと〉「対話的な学び」を目的とした手だて

- 課題解決の場の例示

〈よし!できた!〉「深い学び」を目的とした手だて

- 教師からの的確な助言

【1 単位時間の流れ】

めあてのかくにん

場の準備・準備運動

感覚づくりの運動

取り組む時間

振り返り・整理運動

片付け

【授業風景】



足がしっかりと伸びているね。しっかりと静止していて美しいよ。



ゆりかごで回る感覚を身に付けるよ。大きなゆりかごで勢いをつけると、手を使わずに立ち上げられるね。



友達の技を見て、どこを改善すれば、より美しくできるのかアドバイスをあげよう。「見る」ことができるのも大切だよ。



目線の位置に気を付けたら、さっきよりも、足が上がっているよ。動画を見て、自分の動きを確認してみて。

【児童の変容 授業前】

- ・マット運動の学習を始める際に行った事前アンケートでは、「マット運動が好きですか」という質問に約70%の児童が「好き」と回答した。
- ・友達との教え合いでは、アドバイスの内容が抽象的で、技の習得のために重要であると考えている児童は少なかった。



【児童の変容 授業後】

- ・マット運動で、たくさんの「できる」を体感したことで、「マット運動が好きですか」という質問に約80%の児童が「好き」と回答した。
- ・友達との教え合いに重点を置くことで、学習前と比べて、「友達に励ましてもらった時にマット運動が楽しい」と感じた児童が30%増加した。